

# 随時

[様式第3号]

|         |            |                        |
|---------|------------|------------------------|
| 資料提供年月日 | 平成23年9月27日 |                        |
| 問い合わせ先  | 課名         | 環境保全課                  |
|         | 電話         | 直通 803-1282<br>内線 3990 |
| 担当者     | 職名・氏名      | 統括審議監 内藤<br>課長 田淵      |

## 広報連絡

- 件名 「国連ESDの10年最終年會合」開催地決定について
- 内容 別添の通知のとおり、岡山市では、ESD最終年會合の一環として位置づけられる各種ステークホルダーの主たる會合が開催されることとなりました。
- 資料
  - ・国連ESDの10年最終年會合開催地決定についての事務連絡文
  - ・市長のコメント文

※なお、本日市長は上海より中国東方航空MU570便で、20時50分に岡山空港到着の予定であり、インタビューに応じることは可能です。(岡山空港1F国際線到着ロビーで行う予定です。)

事務連絡  
平成23年9月27日

岡山市 環境局環境保全課 御中

文部科学省国際統括官付

国連ESDの10年最終年會合開催地決定について（ご報告）

平素より大変お世話になっております。

さて、2014年の国連ESDの10年最終年會合の開催地につきましては、本日（9月27日）開催されました「国連ESDの10年」関係省庁連絡會議において、別紙のとおり決定いたしましたのでご報告申し上げます。

今後とも2014年の国連ESD最終年に向けて取組を充実し、會合の成功に努力してまいりたいと考えておりますので、引き続きご協力いただけますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

【問い合わせ先】

（担当）文部科学省国際統括官付

大臣官房国際課国際協力政策室長 浅井孝司

国際統括官補佐 井村 隆

（電話）03-5253-4111（内線2595）

03-6734-2595（直通）

（FAX）03-6734-3679

平成23年9月27日

## 「国連持続可能な開発のための教育の10年」 最終年会合開催地の決定について

第5回「国連持続可能な開発のための教育の10年」関係省庁連絡会議（平成23年9月27日）において、我が国で開催される「国連持続可能な開発のための教育の10年」最終年会合の開催地が決定しました。

「国連持続可能な開発のための教育の10年」最終年会合開催地選定にあたって、本年6月に全国の都道府県及び指定都市に対して意向調査を行った結果、7自治体（北九州市、大分県、愛知県・名古屋市、岡山市、北海道・札幌市、神戸市、浜松市）から開催誘致の希望が表明されました。

平成23年9月27日に開催された、第5回「国連持続可能な開発のための教育の10年関係省庁連絡会議」（議長：長浜内閣官房副長官）において、以下の3点が決定されましたのでお知らせします。

- (1) 閣僚級会合及び全体の取りまとめ会合は、愛知県・名古屋市で開催すること  
(同県・同市は、ESD<sup>※1</sup>への取組や、会場、通信設備、宿泊施設、交通等のインフラ面を含め総合的に最も評価が高かったため。)
- (2) ESD最終年会合の一環として位置づけられる各種ステークホルダー<sup>※2</sup>の主たる会合については、岡山市で開催することとし、今後、同市、ユネスコ及び関係団体との間で調整を行うこと  
(同市は、ESDに対して愛知県・名古屋市と同様に充実した取組が行われており、また、最終年会合に向けた関係者の実施体制が既に確立しているため。)
- (3) なお、他の5自治体については、各自治体におけるサイドイベント等の実施を通じて、日本全体で最終年会合を盛り上げていけるよう、連携・協力を図っていくこと

※1 ESDとは、Education for Sustainable Development（持続可能な開発のための教育）の略

※2 各種ステークホルダーとは、国連機関、研究者、学校関係者、民間企業、NPO等を想定

## 市長コメント

本市では、本年2月以降、「国連ESDの10年最終年会合」の誘致実現に向けて、私自ら何度も足を運ぶなど、地元関係者の皆様と共に全力で要望活動を行って参りましたが、本日、文部科学省から、最終年会合の一環として位置づけられる、各種ステークホルダー（国連機関、研究機関、教育機関、企業、NPOの関係者等）の主たる会合の開催地として、岡山市が選ばれたとの連絡がありました。

これは、今日まで、市内において、市民、大学、教育機関などの様々な組織により優れたESD活動が行われてきたこと、最終年会合の受け入れに関する、市民団体、大学、経済界、岡山県内すべての市町村、さらに瀬戸内海に面する香川県内の関係市町による協力体制や熱意などが、高く評価されたことによるものと考えており、関係者の皆様に心から感謝申し上げる次第です。

今後は、今回の誘致活動で築いた協力体制などを活かしつつ、本市ではじめてとなる国連関連会議の成功に向け、万全の受け入れ体制を整えていくとともに、「環境先進都市・岡山」を全世界にアピールして参ります。

具体的には、この機会を活かしてESD活動の一層の促進を図るとともに、世界中から集まる会議参加者や報道関係者を、全市を挙げておもてなしをし、エクスカーション等を通じて、瀬戸内海をはじめとする地域の優れた自然や歴史的資源を体感いただき、岡山市を取りまく地域一帯の国際的な知名度や国際的なコンベンション都市としての都市格を高めていく所存です。

平成23年9月27日

岡山市長 高谷茂男